

社会福祉法人 真昌会

令和8年度 事業計画

社会福祉法人 真昌会

➤ 理念 (Philosophy)

ご利用者様の喜びをわが喜びとする

～ご利用者様を自分のとても大切な人として位置付けたサービスを提供する

➤ 使命 (Mission)

法人全体

高槻・島本における介護でお困りの方に、そのお困りごとが少しでも解決する良質な介護サービスを提供する。また、地域の中において、模範的な介護サービスを提供し、地域の標準的なサービスの質を示し、地域の介護のトップランナーとして活動する

在宅サービス部門

家に住み続けたい人を支援し、家で生活することをあきらめなくても良い、良質なサービスを提供する

施設サービス部門

「我が家」のように安心して暮らし続けられるよう、何気ない日常を提供する。また、最期まで生きてて良かったと思っていただけるよう、何かをあきらめるのではなく、「やりたい」が形になる、明るく楽しいサービスを提供する

誇りと自信をもって働くことのできる居場所（職場・組織）を目指す

～家族や友人等大切な人にお勧めできる（職場・サービス）

～辞めたくない、帰って来たくなる

そのために…

1. 「したい」が「できる」、楽しい居場所づくり

そのために…

① あきらめない介護

自宅に住み続ける

ペットと暮らす、ペットと会える

好きなところに行ける（一年に一回）

好きなものが飲める・食べられる

② 職員も利用者も楽しいイベントの企画・運営等

2. 自分の存在価値を確認できる

そのために…

① ご利用者様やご家族様に感謝される

ご利用者様を自分のとても大切な人として位置付けた質の高いサービスの提供

ただのケアではない、人として尊重したサービスの提供

清潔な環境での生活等

② 自己客観視（俯瞰）ができる

他部門での体験や研修等を含め外に出る機会を増やす

内外でのブランド力・情報発信力を高める

3. 給料が多くなる

そのために…

① 頑張ったら評価されるシステムの構築

個人成績（インセンティブ等）を積極的に導入

部門業績を賞与査定に反映

② 全体の業績を良くする

③ （生産性）効率を上げる

ICT等の積極的活用

令和 8 年度 事業計画

【 上牧の郷 年間行事等スケジュール 】

月	全体	特養	GH	認知デイ	看多機
4月	入社式 お花見イベント	花祭り 喫茶レク	お花見 歌レク	お花見行事 安満遺跡公園合同イベント	お花見 鯉のぼり作り すし食いに行く DAY
5月	芥川高校太鼓	音楽会	こどもの日 母の日 BBQ	こいのぼりフェスタ 菖蒲湯 長岡天神霧島つつじ BBQ	フラワーアレンジ 菖蒲湯 母の日(たこ焼き)
6月	消防訓練	アイスクリーム・パーラー ゲーム大会	父の日	職員面談	父の日(餃子) 園児との交流 ラッキーランチ(カレー)
7月		スイカ割り 七夕まつり	七夕	スイカ割り	七夕飾り 西瓜割り 浴衣でパシャリ すし食う DAY
8月	夏祭り	花火大会	夏のコンサート スイカ割 花火大会	水鉄砲大会 スイカ割り	盆踊り おやつ作り 西瓜割り ボーリング大会 ラッキーランチ(うなぎ)
9月	災害時訓練	敬老祝賀会	敬老会	BBQ 敬老の日 イオンイベント参加	敬老祝賀会 月見団子 ラッキーランチ(ちらし)
10月	運動会	ゲーム大会	BBQ	ミニ運動会 安満遺跡公園合同イベント	アフタヌーンティー 安満遺跡公園ランチ ハロウィン
11月	収穫祭 消防訓練	喫茶レク	柿狩り 干し柿づくり	紅葉狩り 野球大会 秋祭り	紅葉狩りドライブ BBQ フラワーアレンジメント
12月	餅つき 園児との交流	クリスマス会	クリスマス会 歌レク 餅つき	クリスマスコンサート 忘年会 柚子湯 ケーキ作り	クリスマス会 忘年会 すし食いに行く DAY
1月	新春演芸会	初詣 鏡開き	初詣・初笑い 獅子舞 鏡開き	初詣 初笑い 獅子舞	初詣 書初め カルタ大会 ラッキーランチ(幕ノ内)
2月	節分	節分	節分 紙芝居	節分 梅林鑑賞	フラワーアレンジ おやつ作り ラッキーランチ(おでん)
3月	ひな祭り	ひな祭り	ひな祭り	ひな祭り 梅林鑑賞 職員面談 相撲大会	おやつ作り ラッキーランチ(小料理) お茶々のチャチャチャ

令和8年度 事業計画

【 特別養護老人ホーム 上牧の郷 】

<数値目標>

1. 実稼働率 98%を目指す
 - ① 入居者様の体調管理を適切に行い、重度化（入院）予防に取り組む
 - ② 常に新規入居者面談が1~2名終えている状況を作っておく
 - ③ 新規待機者を確保するため広報・宣伝活動に取り組む
2. 職員定着率 90%以上を目指す
 - ① 挨拶と声掛けかけを大切にする人間関係に取り組み、人間関係を破壊する悪口・陰口等に厳正に対処する
 - ② 職員が楽しいと感じられるレク等に取り組む
 - ③ 1on1 ミーティングを実施する
 - ④ ICT等生産性向上に取り組む、賃金UPを図る
3. 加算体制の整備
 - ① 看取り加算を再度取得できるよう体制を整える
 - ② 生産性向上推進体制加算Iの取得に向けた準備を進める

<行動目標>

1. 基本理念「ご利用者様をととても大切な人として位置づけた」ケアに取り組む
 - ① 一人の人間として尊重したケアに取り組む（作業的ケアに決してさせない）
 - ② 挨拶と声掛けを徹底する（出勤時・訪室時・ケアの前後等）
 - ③ 清潔さの保持を徹底する
 - ④ ナラティブノートの作成に取り組む（解釈を添えない言動も綴っていく）
2. 基本理念「ご利用者様の喜びをわが喜びとする」ケアに取り組む
 - ① 入居者様の「したい（食べたい等）」を形にする
 - ② 入居者様に一年に一度「行きたい所」にお連れする
 - ③ 職員と利用者が楽しいイベントに取り組む
3. 設立理念「施設っぽくない施設」「我が家のような居場所」に取り組む
 - ① ルールを減らしていく
 - ② 利用者を巻き込んで職員同士が会話を楽しむ
 - ③ 笑顔や笑いの絶えない居場所作りに取り組む

令和8年度 事業計画

【 グループホーム 上牧の郷 】

<数値目標>

1. 実稼働率 98%を目指す。(昨年稼働率 79 %)
 - ① 少しの体調変化を見逃さず、ご家族や病院と緊密にやり取りし、入院になっても出来るだけ早く退院できるように対応する。
 - ② 空室をできるだけ回避する為に新規入居者面談を速やかに行う。
 - ③ 実質待機者が5名を切ったら積極的に営業に取り組む
2. 職員定着率 90%を目指す(昨年度 79 %)
 - ① 仕事のやりがいを感じられるような取り組み(目標・研修・個別レク・日々の活動等)を進める
 - ② 毎月の全体会議を開催し、目標を明確に共有することで一つのチームになる
 - ③ 「クレド」を大切に、お互いに成長できる前向きな関係を築き、楽しく仕事に取り組む

<行動目標>

1. ご利用者様お一人お一人を身近な大切な人として位置づけたケアに取り組む
 - ① ご利用者様ご希望の個別レク(外出レク・散歩・花壇の手入れ等)に取り組む
 - ② ご利用者様の希望に基づいた楽しい食レクに取り組む
 - ③ ご利用者様との何気ない毎日を大切にするため、なるべくご利用者様の横に座る
2. 職員全員が質の高い認知症ケアを提供できるように取り組む
 - ① 「認知症だからできない」ではなく、「どうしたらできるのか」を考え、日々の生活を笑顔ある一日に送れるよう対応する。
 - ② ご利用者様を尊厳ある一人の人間として位置づけとし、一人一人と向き合う事から始める。
3. 全職員が利用者様のために同じ目標に向かって協力し、新たなことにチャレンジしていく
 - ① 毎月職員会議を行い、意見が出しあえる話せる場所の確保を行う。
 - ② 利用者様の変化等はタイムリーに情報共有を行う。
 - ③ 一人一人が自分の課題を認識できるよう、定期的に個別ミーティングを行う。
 - ④ 目標の進捗状況の確認のため、年2回の面談を実施する

令和8年度 事業計画

【 看護付小規模多機能ホーム 上牧の郷 】

<数値目標>

1. 登録者数を平均21名以上にする
 - ① 医療、福祉事業所等と密に連携し信頼を得る。
 - ② 利用者様の体調管理に注力し、重度化を防止する。
 - ③ 退院時、医療機関や家族様と連携し、もともと出来ていた事を取り戻すことで、在宅へのパイプ役を果たす。
 - ④ 地域住民との交流を図り、地域に根づいた施設になる。
2. 職員定着率90%にする
 - ① 感謝の気持ちを持ち、お互いが認め合える働きがいのある職場にする。
 - ② 人員体制を整え、互いに信頼できる働きやすい職場にする。
 - ③ 新人研修、人材育成研修等を積極的に行い、立場を超えて互いに学び合う。

<行動目標>

1. 利用者様に笑顔と満足、感動を届ける
 - ① 利用者様を大切な人と位置づけ、笑顔のための心に寄り添った介護を行う。
 - ② 看護小規模多機能であるからこそできる支援を行い、利用者様に満足していただく。
(柔軟なケアプラン、看護と介護の連携、訪問介護・訪問看護の充実、利用者の状況に応じたレクリエーション)
 - ③ 生きていてよかったと思っただけのケアで感動を届け、看取りの支援体制を構築する。
2. 月間目標を元に日々の目標をたて、全員で目標を達成する。
3. 「上牧の郷」全体を意識し、他部門と協力して、お互いを高めあう
4. 利用者の確保、人材確保のための広報宣伝活動を積極的に行い、円滑な法人運営を行う。
 - ① インスタグラムを活用し、看護小規模多機能の日常や施設としての上牧の郷の活動を発信していく
 - ② 定期的に広報宣伝活動を行う

令和8年度 事業計画

【 上牧の郷デイサービスセンター 】

<数値目標>

1. 利用率 平均 95%を目指す (昨年度 : 86.4%)
 - ① 新規の相談等は前向きに調整し、次に繋げられる案を出し相談が途絶えないようにする。
 - ② 入院やショートで終了となっても現状の利用者人数を維持する。
 - ③ 利用終了者による空きが生じてもスムーズに利用できるように増回の案内や待機者をもつようにする。
2. 職員定着率 100%を目指す (昨年度 : 86%)
 - ① 1人1人のスキルアップを目指し、やりがいを持てるように自分のすべき事を考え動き、やる気を持てるようにする。
 - ② 1人1人が困っている事等、話せる雰囲気意識し、丁寧な対応を行う。

<行動目標>

1. ご利用者様・ご家族様に選ばれるデイサービスを目指す
 - ① 音楽活動に力をいれ、地域No.1の明るく笑顔あふれるデイサービスにする
 - ② インスタグラム等を活用し、家族様にデイサービスの様子を発信していく
 - ③ 音楽活動等の様子を、インスタグラムやその他の媒体を用いて積極的に発信し、上牧の郷デイサービスを一般の方を含め広く知ってもらうように取り組む
2. 笑顔で明るい対応を徹底し、ご利用者様・ご家族様との信頼関係を深めていく
 - ① 毎日の笑顔の写真等ご家族様やケアマネへの情報発信に力を入れる
 - ② いろいろな人がワクワク出来るイベント作りを企画し、家族様だけではなく、日々の関わりや活動を観ていただく機会を確保する
 - ③ 全職員が質の高い認知症ケアを提供し、ご利用者様お一人お一人に合ったケアを丁寧に行う。
3. 職員一人一人の目標を明確にし、ケアの質の向上を目指す
 - ① 積極的に行動し、「できない」から「どうしたらできるのか？」を考え、対応する。
 - ② 年1回の個人面談やほめ褒めカード
 - ③ ドを用いて「ほめる」を意識し、職員のモチベーションを上げる。
 - ④ 自分の現状をしっかりと受け止め、更なる向上を図るように面談の機会を持つ

令和8年度 事業計画

【 トップケア介護プランセンター 】

<数値目標>

1. 相談受付件数月 12 件 もしくは新規プラン月 6 件
2. 稼働率 100%を目指す

<行動目標>

1. 利用者・家族に信頼して頂けるよう、心に寄り添う支援を行う。
ケアマネジメントの知識を増やし、様々な関係機関の架け橋となる役割を果たす。
 - ① 週 1 回のケア会議にて、利用者に関する情報及び、意見交換、他事業所の情報交換、部門内で周知しておく内容の伝達を行う。
 - ② 月 1 回のケアマネ会議にて、ケアマネジメントに関する勉強会、加算要件に必要な研修、外部研修に参加、伝達を行いケアマネジメントの知識を深める。
2. 協力し合い、教え合い、笑い合える事業所。
相談がしやすく、休みがとりやすい環境を維持。
 - ① 日頃から、部門内のコミュニケーションを持つ。
 - ② ケア会議、ケアマネ会議を通じて、日々の利用者の情報を共有し、ケアマネが代わっても対応できる状態にする。
3. 素早く確実にプランに繋げる。
担当件数 100%を目指す。
 - ① 包括からの依頼ケースのその後の報告を送るなど、繋がりを継続する。
 - ② 医療と介護の連絡シートを活用し、丁寧な連携を図ることで信頼関係を維持する。
 - ③ AI 技術を活用し、業務の効率化を図り生産性を高める。

令和8年度 事業計画

【 トップケア万葉ケアプランセンター 】

<数値目標>

1. 相談件数・・・月3件
2. 稼働率 100%を維持する。

上記計画案の達成と各ケアマネジャーが新規受託人数等を主体的に調整する。

<行動目標>

1. 適切なケアマネジメント手法を学ぶ

本人の尊厳を尊重し、住み慣れた地域で出来るだけ暮らし続けるために。

- ① 週1回の定例カンファレンスにおいて利用者支援の現状認知を CM 全員で共有する。
- ② 様々な領域の専門職等と円滑に連携できるようにする基本的な知識を身に付ける。

定例の島本町包括主催のケアマネ部会・自立支援会議、プラン点検に参加する。

2. 職員同士で情報交換しやすい環境を築けている。

- ① 週1回の定例カンファレンス時に今、困難と感じている事や悩みを話せる機会を持つ事で、自身の支援にも役立てる。
- ② 新しい情報を積極的に提供し、共有できる。

3. 健康第一。オーバーワークにならないように注意して行動する。

- ① 管理者は適切な労務管理に努める。
- ② 各ケアマネは自身と家族の健康維持に努め、タイムパフォーマンスの向上を徹底する。(直行直帰・フレックス制度を活用する。)

令和8年度 事業計画

【 トップケア訪問介護センター 】

<数値目標>

1. 利用者 新規獲得数 9件/月
 コマ数 サ責一人当たり 300 コマを目指す
2. 成長比率 3%を目指す
 - ① 事業所に訪問し対面での営業活動を行う
 - ② ケアマネを採用された事業所情報が入れば訪問する
 - ③ 家族様の負担軽減に繋がるようにサービスの増回を提案していく
3. 1人以上の登録ヘルパーの獲得

<行動目標>

1. 数字を意識する
 - ① 稼働率アップできるように現況報告を意識する
 - ② サービスの提案をして家族の負担軽減につなげ、コマ数増回を意識する
2. 登録ヘルパーとの関係を大切にする
 - ① 密に連絡をして情報共有を意識していく（報連相の大切さを伝える）
 - ② サ責と登録ヘルパーの関係作りを意識し親睦を深める
 - ③ ヘルパーの質の向上・教育に力を入れ事故の数を減らす
3. 利用者様の想いを汲み取ったサービスを心がける
 小さなことでも早急に対応することで信頼を得られるようにする

令和8年度 事業計画

【 トップケア万葉訪問介護センター 】

選ばれる事業所へ ～スキルをブラッシュアップ～

<数値目標>

1. 新規獲得数： 5件／月
2. サ責担当件数： 40件／人
サ責担当コマ数： 300コマ／人
売上：前年度同月の103%

<行動目標>

1. 人材確保

- ① 毎日のクレドを意識し、同じ気持ちで一日業務に取り組む
- ② サ責・常勤と月に一度1オン1ミーティング行う
- ③ ヘルパー面談継続（年1回以上）
- ④ ヘルパーのスキル向上とモチベーション維持
 - ・ 同行訪問（身体介護）の充実
身体介護ができるヘルパーを育てる（増やす）
 - ・ カンファレンス開催
主に、訪問回数の多いサービスや数人が関わっているサービスのカンファレンスを行う→ヘルパー同志のつながりができ、また、サービスの統一ができる
- ⑤ SNSを活用し、地域に潜在している人材を求人につなげる

2. 業務見直し

- ① サービス内容の確認・提案
 - ・ 利用者一人一人、ご自身のできる事を継続していただけるようなサービスができているかの確認
 - ・ 身体介護+生活援助のサービスの提案
- ② 評価基準を明文化し、担当件数の多いサ責を評価する

3. 営業強化

- ① 居宅介護支援事業所への定期的な営業
 - ・ 力を入れていることなどを伝え、事業所の強みを明確化する
- ② 受け入れ可能な曜日・時間帯を可視化する

令和8年度 事業計画

【 トップケア介護用品センター 】

<数値目標>

新規件数	10件
利用者獲得	350人以上を目指す
成長比率	2%を目指す
新規居宅事業所獲得件数	2件以上を目指す

1. 毎月の会議にて数値目標、件数を発表することで数字に対する意識付けを行う
2. 卸業者の発注比率の調整、新商品の提案、仕入れ価格の値下げ交渉を積極的に行う
3. 職員や卸業者と連携、情報共有を意識することで迅速なサービスの提供を行う

<行動目標>

「ご利用者様の喜びはわが喜び」の基本理念を常に念頭におき、
利用者のニーズに真摯に向き合えるようサービスの提供を目指す。

1. 自己を磨き提案力の強化、連携の強化にて、専門相談員、事業所ともに質の向上を図る。
2. 新人育成フローの新構築、マニュアルの見直しを図り、人材の確保の基盤を形成する。
3. SSの機能やAIソフトを活用し、事務作業の時間を短縮、管理体制の強化を図る。
4. 各法令を遵守し、コンプライアンスの徹底を図る（研修、会議で学ぶ機会を設ける）
5. 職員が働きやすい環境を目指すため、ワークライフバランスの推進を図る

令和8年度 事業計画

【 万葉館デイサービスセンター 】

<数値目標>

年間：500万（月416万）

稼働率；90%（1日平均 22～23人）

体験利用者様の獲得

<行動目標>

1. ご利用者様に満足していただけるサービスを行う。
 - ① ご利用者様を「一人の大切な人」として尊敬の念で接する。
 - ② どんな方も先入観を持たずに接し、全力で楽しんでいただく。
 - ③ ご利用者様一人ひとりのニーズに応えられるケアを行う。

2. 人（介護職）として誇りを持ち、成長し続ける。
 - ① 25人、26人の日でも、笑顔で明るく合格点でやり切る。
 - ② ヒヤリハットの記入数でグループ1番を目指す。
自らすすんでヒヤリハット、事故報告を書き、より良いサービスを行う。
 - ③ 個人目標を設定し、定期的な振り返りとフィードバックを忘れない。

3. 常に前向きな姿勢を忘れない。
 - ① 言葉は言霊。ネガティブな言葉は使わずポジティブな言葉を使う。
 - ② 思いやりの心、感謝の心を忘れず、「ありがとう」の言葉をたくさん言う。
たくさん褒める。
 - ③ うまくいかなかった事、失敗からの学びを怠らない。

令和8年度 事業計画

【 さくらデイサービスセンター 】

<数値目標>

- ・ 体験利用者の利用率 7割
- ・ 稼働率：85%

<行動目標>

1. ご利用者様・ご家族が安心して過ごしていただける場所にする。
 - ・ 季節を感じていただき、刺激のある時間を作る。
 - ① 1カ月ごとの行事を提案し新しい行事内容にもチャレンジする。
 - ② ご利用者様一人ひとりのニーズを吸い上げられるようにお声掛け、傾聴を行っていく。
2. 働きやすい職場風土を作る。
 - ・ 相談しやすい環境を作り、職員がご利用者様と共に楽しめる職場にする。
 - ① 楽しい中にも厳しさをもち、お互いに意見を言える環境を作る。
 - ② 看護師、介護士の意見交換の場をデイ会議等で設ける。
3. 会社の利益につなげる。
 - ・ 稼働率：平均80%を維持する。
 - ① 体験利用時には各職員、獲得を意識していく。
 - ② 購入品の検討、経費削減、残業時間削減に心がける。

令和8年度 事業計画

【 安心ハウス万葉館 】

<数値目標>

* 実績稼働率	95% (19室稼働)
* 介護保険集計 (平均)	3,600,000円
* 安心ハウス障害集計 (平均)	2,000,000円
* 保険外集計 (平均)	400,000円

<行動目標>

1. 入居者様に充実した生活を送っていただく
 - i) 入居者様同士の理解やコミュニケーションの場の提供
 - ① 自らの選択での団欒の場
 - ② 生活リハビリで健康維持を目指す
 - ③ その方の人生・個性等の尊厳を重視する
 - ii) レク費の活用
 - ① 季節ごと、週ごとのイベントに積極的に参加していただき家族様、地域の方々との交流を図る
 - ② 近隣散歩や外出の機会を作り、サービスとして位置付け地域にアピールする
 - ③ 常時、日中を過ごすフロアを自宅のリビングと感じられるように模様替え
2. 良好な人間関係で、働きやすい職場環境とする
 - ① 日勤リーダーの育成でシフトの円滑な動きを取る
 - ② 週1回のケースミーティング、月に1回のヘルパー会議を自分の考えを述べられる機会とする
 - ③ 内部研修の充実を図る。Web研修の発信をしていく
 - ④ 家庭との両立を図れるよう協力し合う
3. 新しいことへ挑戦
 - ① 老朽化する物品、設備の見直し
 - ② 古き良き知識技術は継承し、新しいことへの挑戦の定着に努める
 - ③ 新たな医療機関との構築に務める